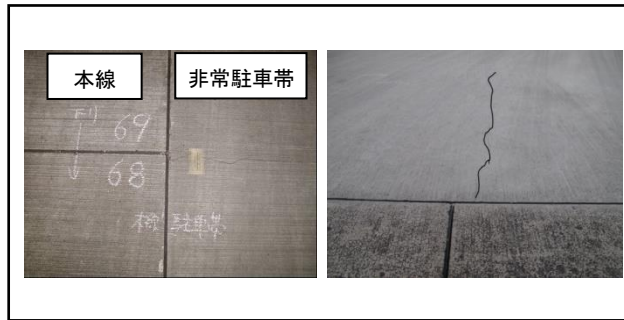


発生箇所	①縦目地, ②横目地
分類	設計
参考箇所	コラム 11 目地割りの注意点①

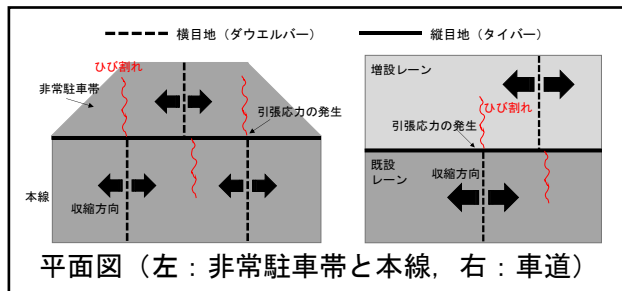
●内容

- トンネル内の普通コンクリート舗装本線と接する非常駐車帯において、横目地位置が一致しない箇所（T型の目地）でひび割れが生じた。
- 既設コンクリート舗装に隣接した増設レーンで、横目地位置が一致しない箇所（T型の目地）でひび割れが生じた。



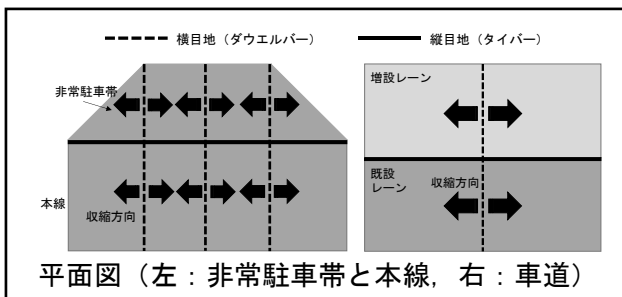
●原因

- 隣接するコンクリート版の目地位置が不一致な場合、それぞれの版が異なる伸縮挙動を示し、目地位置以外に引張応力が作用するため、横断方向のひび割れが発生した。



●発生防止策

- 本線と非常駐車帯の目地位置を一致させて T 型の目地割りを避ける。
- 増設レーンの目地位置と目地間隔を既設レーンと一致させる。



●発生した場合の対応策

- 瀝青材や樹脂材を用いたシーリングを行う。
- バーステッチを行い、ひび割れ箇所を連結する。

